

資格取得をめざせ! 日本語検定の資格取得に補助金制度ができました

これって、おかしい?

「私がやらせていただきます。」

「食べれないものはありますか。」

「社長は3時にご出発される予定です。」

「私って、すごく忘れっぽい人じゃありませんか。」

「お名前の方、書いてもらってよろしいですか。」

「千円からお預かりいたします。」

「私的には違和感がないのですが。」

このような言い方をしたり、聞いたりしたことはありませんか。



これまでの検定問題にチャレンジしてみよう

【4級表記の問題】次の文の中から、間違った表記をさがしましょう。
(ヒント：間違いは4つです)

現在、私たちがとって身近なものが、数十年前まではなかったなんて以外だ。発売当時、「お湯を注ぐだけ」のインスタントラーメンが人々に与えた衝撃は大きく、「魔法のラーメン」として喜ばれたようだ。最近では、ひもを引っ張るだけで温まるお弁当が評判だ。だが、このような技術の進歩を生活の中で感じる楽しさは、よく分かる。食生活が便利になるのはよいことだが、一方で、栄養の偏りや、高脂肪食による生活習慣病などの健康の問題も増えたという。今後の食生活について、よく考えてみる必要がある。

【6級漢字の問題】正しいのはどちらでしょう。

1. 町の清掃活動にシシ的に加わっている。 (①自首 ②自主)
2. その歌手のコンサートには、全国から熱狂的なファンがシユウケッした。 (①集結 ②終結)
3. このシヨウヒンは、朝から飛ぶように売れて、もう売り切れだ。 (①商品 ②賞品)
4. 台風のえいきょうで、東海道しんかんせんはゼンセン不通になっしよる。 (①前線 ②全線)
5. そこにあるメモヨウシをどってくださった。 (①洋紙 ②用紙)

【2級文法の問題】の言い方で適切な場合は○を、適切でない場合は×をつけましょう。

1. あまり身勝手なことを言って、両親を悩ませるのはよくない。
2. 部長、この件は谷島君に立案を任せられるのがよいと思います。
3. 先生のスーツケースも、いっしょに運ばせますから、いっしょにおいて置いてください。
4. あの人は、いつもわたしを困らせるおつなごばかりする。
5. 犯人をかくまい逃がさせた容疑で、警察の取り調べを受けた。

播磨町が自治体として全国で初めて取り組んでいる日本語検定ですが、昨年度は9歳から69歳までの方、126人が受検されました。そして今年度からその日本語検定受検に補助金制度ができ、小中学生は400円から、一般住民は900円から受検することができるようになりました。この機会に、家族そろって日本語検定資格を取得し、正しい日本語、美しい日本語の行きかう町にしましょう。日本語検定は、小中学生から社会人まで、それぞれの生活環境と発達段階に応じて取り組むことのできる資格試験です。「敬語」「文法」「語彙」「言葉の意味」「漢字」「表記」の6つの領域から日本語の運用能力を測定します。さてそもそも、なぜ日本語が大切なのでしょうか。人間



▲受検会場の様子

日本語検定に向けた学習会

日本語検定に向けての学習会を各コミセンで行います。無料です。お気軽にお申し込みください。学習会の申し込み受付は、各コミセンまで。

5月9日(土) チャレンジ教室

(過去の問題で力試し)
5月16日(土) 漢字・表記の学習会

6月6日(土) 語彙・言葉の意味の学習会

6月13日(土) 敬語・文法の学習会

上段の検定問題の解答

【4級】以外→意外
喜ばれた→喜ばれた
偏り→偏り

【6級】1 ② 2 ① 3 ①
4 ② 5 ②
高脂肪食→高脂肪食

【2級】1 × 2 ○ 3 ×
4 × 5 ×

問い合わせ

- 東部コミセン ☎078(9)43(6)611
- 野添コミセン ☎078(9)43(4)825
- 西部コミセン ☎079(4)36(9)900
- 南部コミセン ☎079(4)36(4)110
- 学校教育グループ ☎079(4)35(0)545

	正規受検料	播磨町受検料		目安となるレベル
		町内小・中学生	町内在住者	
7級	1,400円	400円	900円	小学校中学年程度
6級	1,500円	500円	1,000円	小学校高学年程度
5級	1,500円	500円	1,000円	小学校卒業程度
4級	2,000円	1,000円	1,500円	中学校卒業程度
3級	3,500円	2,000円	2,800円	社会人初級・高校卒業程度
2級	5,000円	3,000円	4,000円	社会人中級・大学卒業程度

※1級は播磨町の会場では受検できません。

受検及び申込方法

- ▼日時 6月20日(土)
午前 2級、4級、6級
午後 3級、5級、7級
- ▼場所 各コミセン
- ▼申込期間 3月1日(日)～5月15日(金)
- ▼申込場所 各コミセンまたは学校教育グループ
- ▼補助金 補助金は1回の検定において1つの級に適用されます

は言葉を使って相手に意思を伝えます。言葉を使って相手の言うことや本に書いてあることを理解します。そして言葉を使って物事を考えます。つまり言葉は「コミュニケーション」の道具であるだけでなく、すべての学習の基礎ともなるのです。そこで播磨町では、小中学生だけでなく、住民の皆さんにも安価で受検できるように日本語検定試験の受検料を補助し、資格取得とともに知の循環型社会の創造を目指しています。受検前には、各コミセンで無料で模擬テストや学習会も行います。検定認定または準認定された方には、日本語検定協会より直接、認定証が送付されます。

お漬物を作りました



▲おいしいお漬物になーれ

播磨小学校 2年

2年生は、栽培して収穫したダイコンを使って、1月29日と2月10日の2回、シニアクラブの方をお迎えして漬物を作る学習をしました。1回目は塩漬けをしましたので、2回目は塩漬けから本漬けをするという計画で行いました。

塩漬けは、35^gもある大量のダイコンをすき間を少なく詰めていき、桶いっぱいになりました。1回目と違い、ダイコンは半分ほどに小さくなり、しかも桶の上の方まで水がたまっていく様子に、子どもたちは驚くばかりでした。水を捨て、漬物の元やその他調味料を調査したものを、小さくなったダイコンと混ぜ、また桶に入れていきます。子どもたちはダイコンと調味料を桶に入れる作業をシニアクラブの方の指導で行いました。
1ヵ月後の2月10日、おいしい本漬けができ、子どもたちは大喜びでした。

未来の自分へワープ！



▲理容師の仕事を体験

蓮池小学校 6年

「僕は医者班」「私は理容師班」…体育館に入る6年生の期待にあふれた声。

今日は「職業人と語ろう」と題して、10職種に携わる方々から体験談を聞いたり、実際に体験させていたただく日。

モニターで歯の観察をする歯科衛生士班、血圧を測定する保健師班、注射器の使い方に取り組み獣医班、エプロンシアターに挑戦する保育士班、木をかんで削る木工班…「仕事」とは程遠いという思いが、一気に身近に感じられた瞬間です。体験の後の質問タイムでは、職業人としての仕事に対する真剣さや誇りが伝わって来ました。また、子どもたちへの願いやエールもあり、仕事への真剣な取り組みを約束しつつ、明るく楽しみな未来が見えたようです。卒業という一つの節目に、将来を考える素晴らしい時間が過ぎていきま

生徒会スタート



▲よりよい播中を目指して!!

播磨中学校 2年

「一人一人が楽しめる播中づくり」この目標を掲げ、平成21年度播磨中学校生徒会がスタートしました。

「今の播中って生徒全員にとって居心地のいい場所なんだろうか」生徒会役員17人は、この議題について話し合うことから始めました。自分の行動を振り返り、クラスの様子を思い出し、播磨中学校の一生徒としての率直な意見をぶつけあいました。意見は人それぞれでしたが、今、自分たちがしなければならぬ事を彼らなりに見つけ出せたようです。
生徒会がなくても学校は動いていきます。でも、気持ちと行動力だけで、教師の力をはるかに超える大きなパワーをも発揮することがあります。「きっと私たちにも何かができるはず」彼らの真剣なまなざしと熱い気持ちにふれると、何か彼らの力で作りだしてくれそうな気がしてワクワクします。

お別れ会



▲小学校でもがんばってね

蓮池幼稚園

年長児とお別れが近づいてきた3月。年中児が年長児に内緒でお別れ会の準備をしてくれました。そんなある日「おおきい組さん、お別れ会にきてください」と言って招待状をもらった年長児たち。うれしくて、何回も何回も見ていました。お別れ会では、「手品」「カノン」など楽しいプログラムが進められました。最後に、年少児からは写真の壁掛け。年中組からは卒園式につけるコサージュをプレゼントしてもらいました。年長児もお返しにキーホルダーを渡しました。そして3月18日の卒園式では、年中児からももらったコサージュを胸につけて74人の年長児が立派に卒園できました。すてきな1年生になってくださいな。

1年間を振り返って



▲外壁塗装が終わったピカピカの校舎

播磨南高等学校

去年1年間の生徒会活動は非常に充実していました。国際国流や募金活動などのボランティアを通し、自分以外の人のために行動する事を経験できたからです。
1年間お読みくださりありがとうございました。(平成20年度生徒会より)

平成21年度、お世話になります。前年度のように、今年度もまた、広報の記事を書かせていただきます。播磨町民の皆さんに、播磨南高校について、もっとたくさん知ってもらうために、今年1年間頑張りますので、どうぞよろしく願っています。



不思議な花“ポピー”



▲きれいな花が咲いたね

播磨中央保育園

冬の寒い間、「土が乾いてから水をやらないと根っこが腐ってしまうよ」と気をつけながら水やりをしていた子どもたち。

「あつ芽が出てるよ。おはなの赤ちゃんやね」と言いながら保育者と一緒に、花がらを摘んだり、雑草を抜いたりしていました。種から育てたポピーの茎が伸びているのを見て、「これは何?」「毛の生えた虫みたいなのがついてる」と子どもたちは不思議そうに観察していました。

雨の日は頭を下げ、おじぎをしているポピーのつぼみを見て、「本当に花が咲くのかしら?」と心配していました。雨が上がり、見事に開いた花を見て、「こんなにかわいらしい花、初めて見たわ」と感動し、花を育てる楽しさや喜びが一層、大きくなりました。

